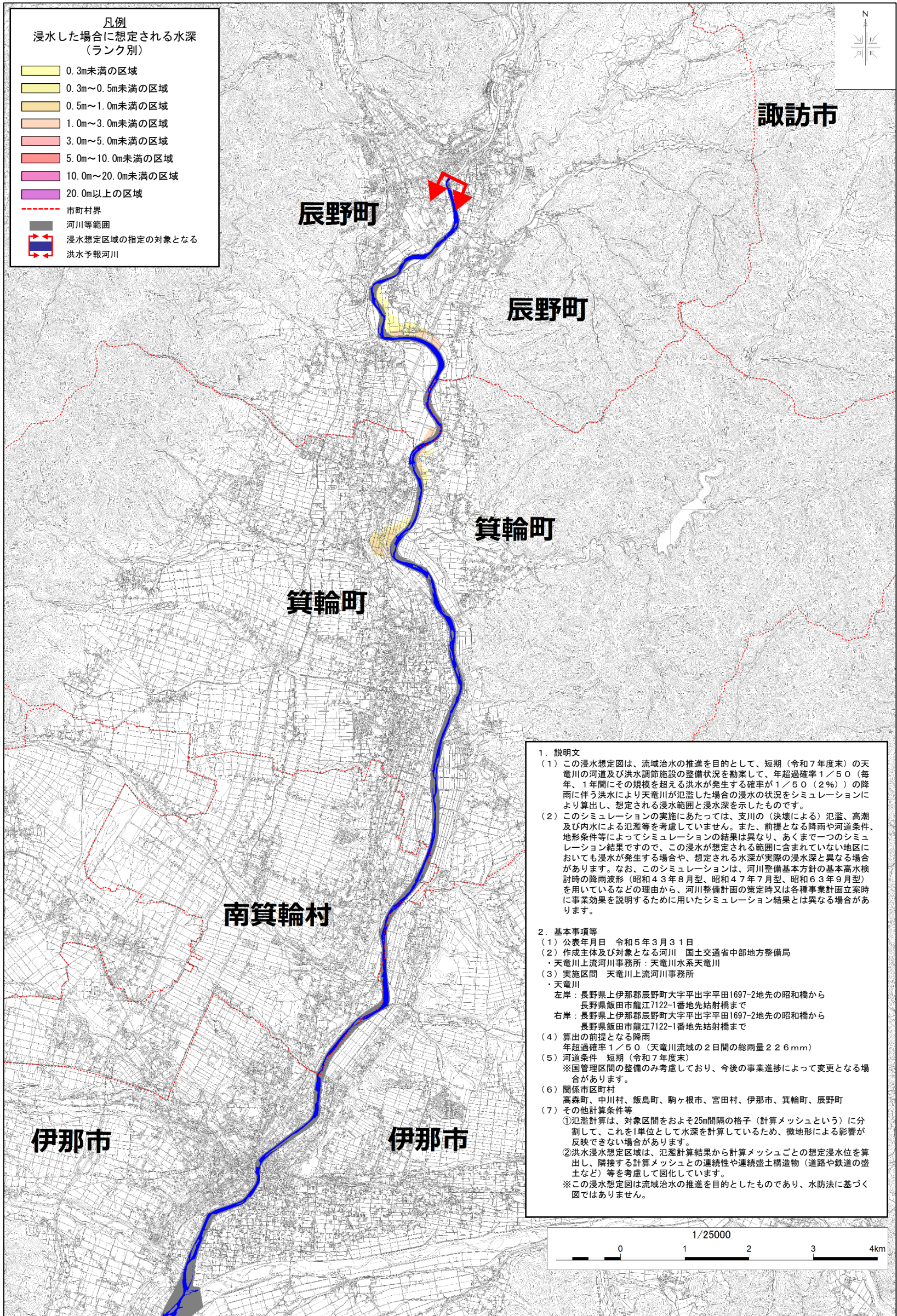


天竜川水系 国管理河川の浸水想定図（1／50規模降雨）

【短期河道】 4分の1



凡例
浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

0.3m未満の区域
0.3m~0.5m未満の区域
0.5m~1.0m未満の区域
1.0m~3.0m未満の区域
3.0m~5.0m未満の区域
5.0m~10.0m未満の区域
10.0m~20.0m未満の区域
20.0m以上の区域
市町村界
河川等範囲
浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

1. 説明文

(1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、短期(令和7年度末)の天竜川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))の降雨に伴う洪水により天竜川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出し、想定される浸水範囲と浸水深を示したものです。

(2) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水が想定される範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和43年8月型、昭和47年7月型、昭和63年9月型)を用いているなどの理由から、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 公表年月日 令和5年3月31日

(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省中部地方整備局
・天竜川上流河川事務所：天竜川水系天竜川

(3) 実施区間 天竜川上流河川事務所
・天竜川
左岸：長野県上伊那郡辰野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から
長野県飯田市龍江7122-1番地先姑射橋まで
右岸：長野県上伊那郡辰野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から
長野県飯田市龍江7122-1番地先姑射橋まで

(4) 算出の前提となる降雨
年超過確率1/50(天竜川流域の2日間の総雨量226mm)

(5) 河道条件 短期(令和7年度末)
※国管理区間の整備のみ考慮しており、今後の事業進捗によって変更となる場合があります。

(6) 関係市区町村
高森町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、箕輪町、辰野町

(7) その他計算条件等

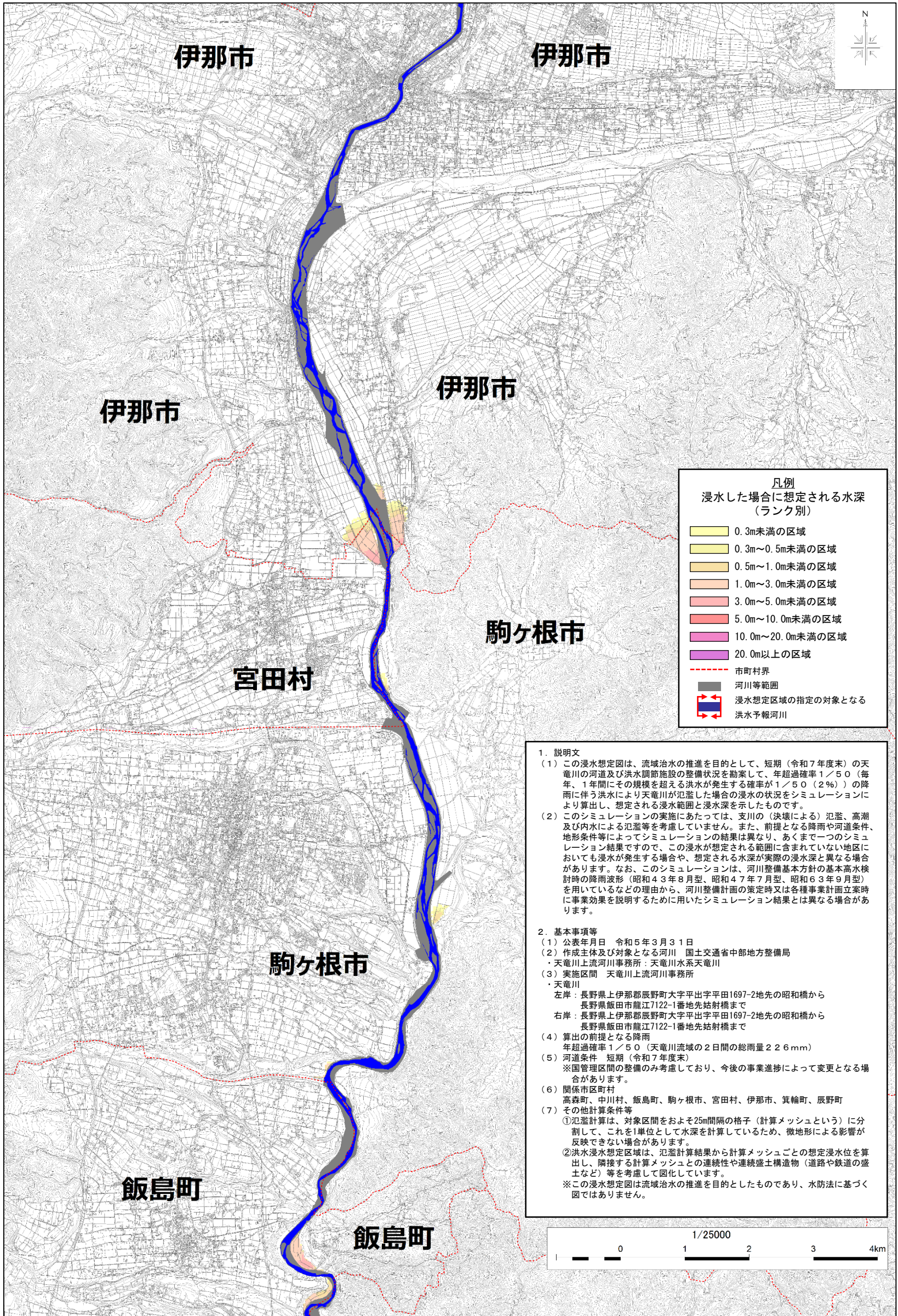
① 氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

② 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。

※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

天竜川水系 国管理河川の浸水想定図（1／50規模降雨）

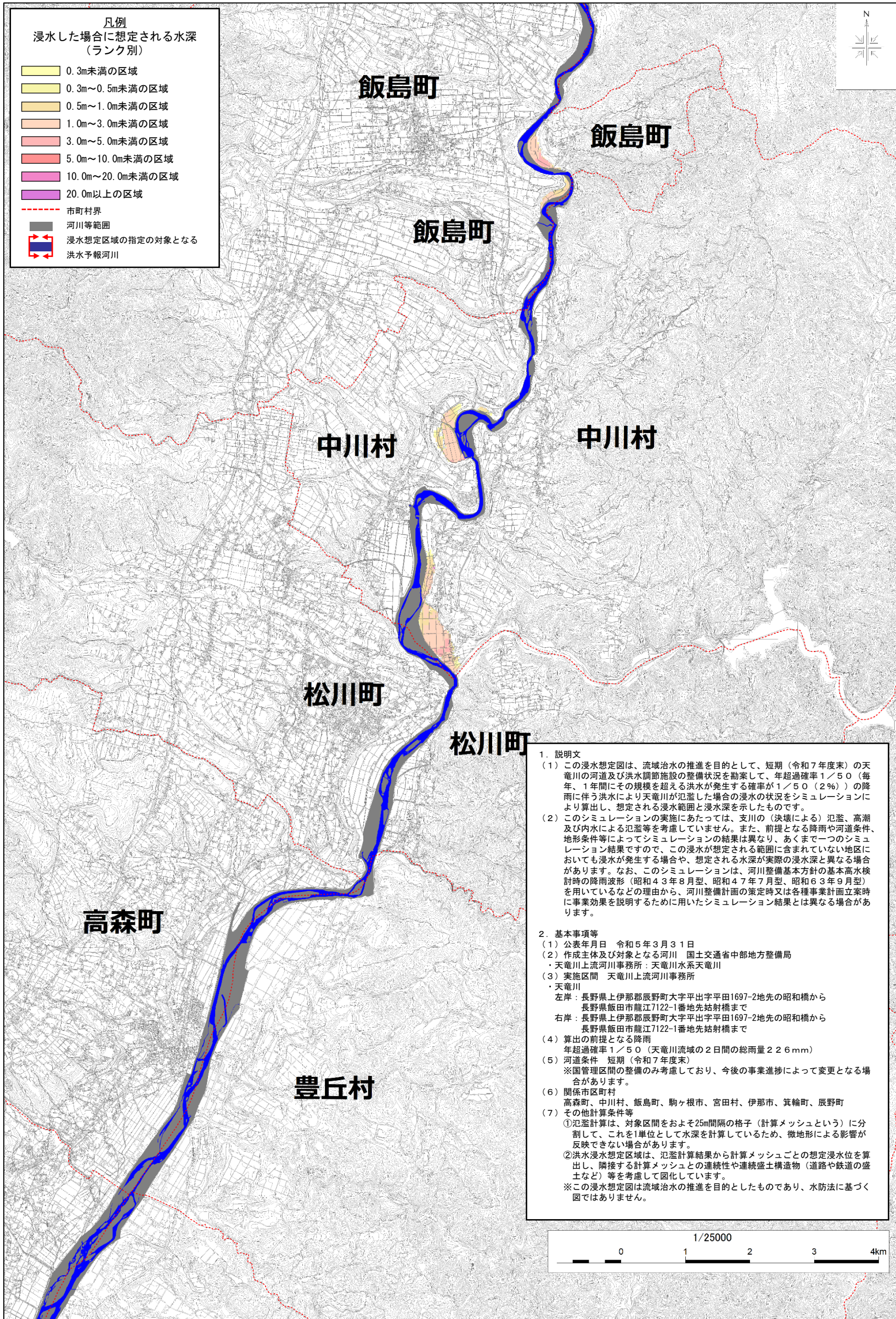
【短期河道】 4分の2



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。
 「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R4JHs384」

天竜川水系 国管理河川の浸水想定図（1／50規模降雨）

【短期河道】 4分の3



凡例
浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

0.3m未満の区域
0.3m~0.5m未満の区域
0.5m~1.0m未満の区域
1.0m~3.0m未満の区域
3.0m~5.0m未満の区域
5.0m~10.0m未満の区域
10.0m~20.0m未満の区域
20.0m以上の区域
市町村界
河川等範囲
浸水想定区域の指定の対象となる 洪水予報河川

1. 説明文

(1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、短期(令和7年度末)の天竜川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))の降雨に伴う洪水により天竜川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出し、想定される浸水範囲と浸水深を示したものです。

(2) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水が想定される範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和43年8月型、昭和47年7月型、昭和63年9月型)を用いているなどの理由から、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 公表年月日 令和5年3月31日

(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省中部地方整備局
・天竜川上流河川事務所：天竜川水系天竜川

(3) 実施区間 天竜川上流河川事務所
・天竜川
左岸：長野県上伊那郡辰野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から
長野県飯田市龍江7122-1番地先姑射橋まで
右岸：長野県上伊那郡辰野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から
長野県飯田市龍江7122-1番地先姑射橋まで

(4) 算出の前提となる降雨
年超過確率1/50(天竜川流域の2日間の総雨量226mm)

(5) 河道条件 短期(令和7年度末)
※国管理区間の整備のみ考慮しており、今後の事業進捗によって変更となる場合があります。

(6) 関係市区町村
高森町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、箕輪町、辰野町

(7) その他計算条件等

① 氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

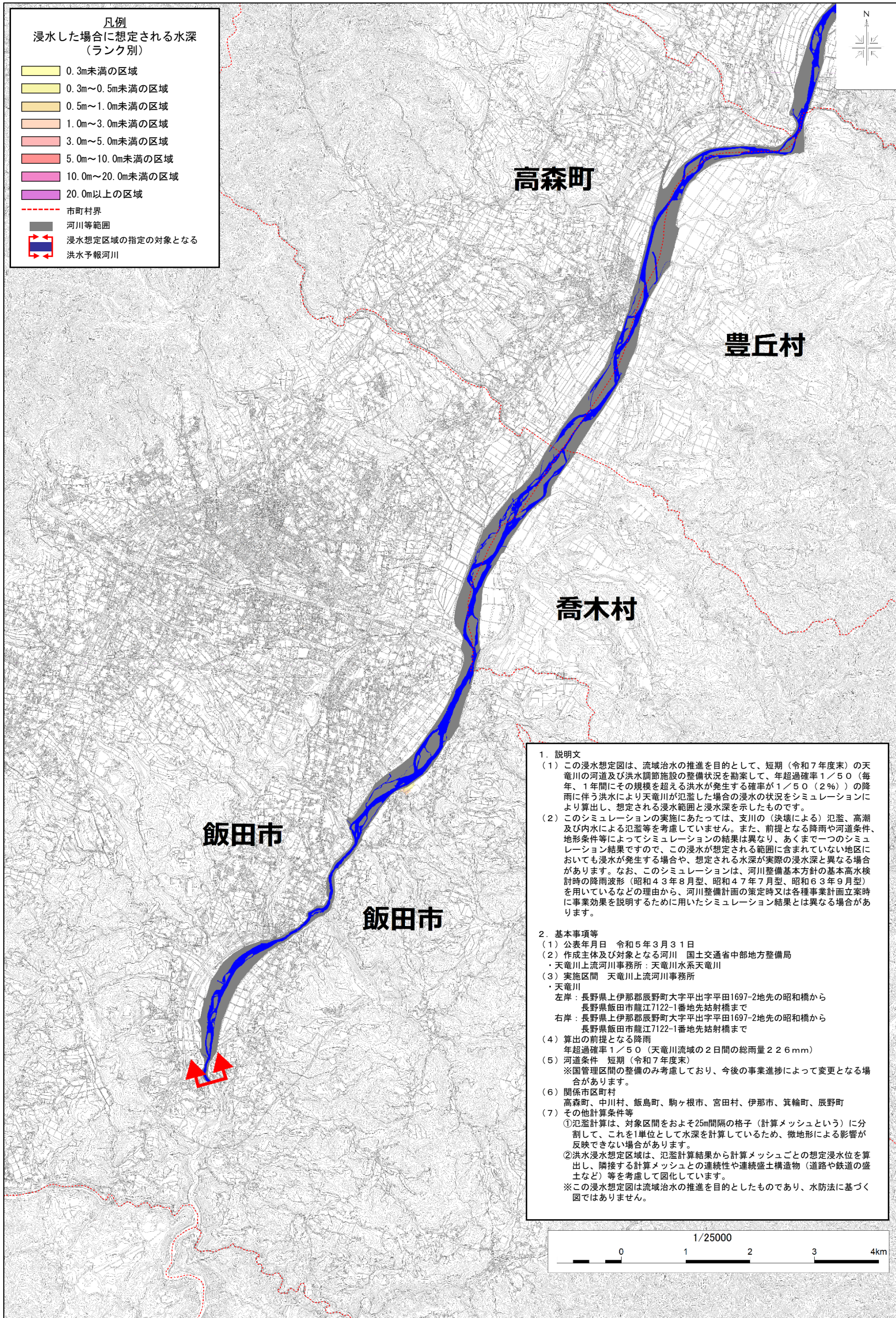
② 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。

※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R4JHs384」

天竜川水系 国管理河川の浸水想定図（1／50規模降雨）

【短期河道】 4分の4



凡例
 浸水した場合に想定される水深
 (ランク別)

- 0.3m未満の区域
- 0.3m~0.5m未満の区域
- 0.5m~1.0m未満の区域
- 1.0m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 5.0m~10.0m未満の区域
- 10.0m~20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

市町村界
 河川等範囲
 浸水想定区域の指定の対象となる
 洪水予報河川

1. 説明文

(1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、短期(令和7年度末)の天竜川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))の降雨に伴う洪水により天竜川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出し、想定される浸水範囲と浸水深を示したものです。

(2) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水が想定される範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和43年8月型、昭和47年7月型、昭和63年9月型)を用いているなどの理由から、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 公表年月日 令和5年3月31日

(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省中部地方整備局
 ・天竜川上流河川事務所：天竜川水系天竜川

(3) 実施区間 天竜川上流河川事務所
 ・天竜川
 左岸：長野県上伊那郡辰野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から
 長野県飯田市龍江7122-1番地先姑射橋まで
 右岸：長野県上伊那郡辰野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から
 長野県飯田市龍江7122-1番地先姑射橋まで

(4) 算出の前提となる降雨
 年超過確率1/50(天竜川流域の2日間の総雨量226mm)

(5) 河道条件 短期(令和7年度末)
 ※国管理区間の整備のみ考慮しており、今後の事業進捗によって変更となる場合があります。

(6) 関係市区町村
 高森町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、箕輪町、辰野町

(7) その他計算条件等

① 氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

② 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。

※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。